

・H23年度からスタート

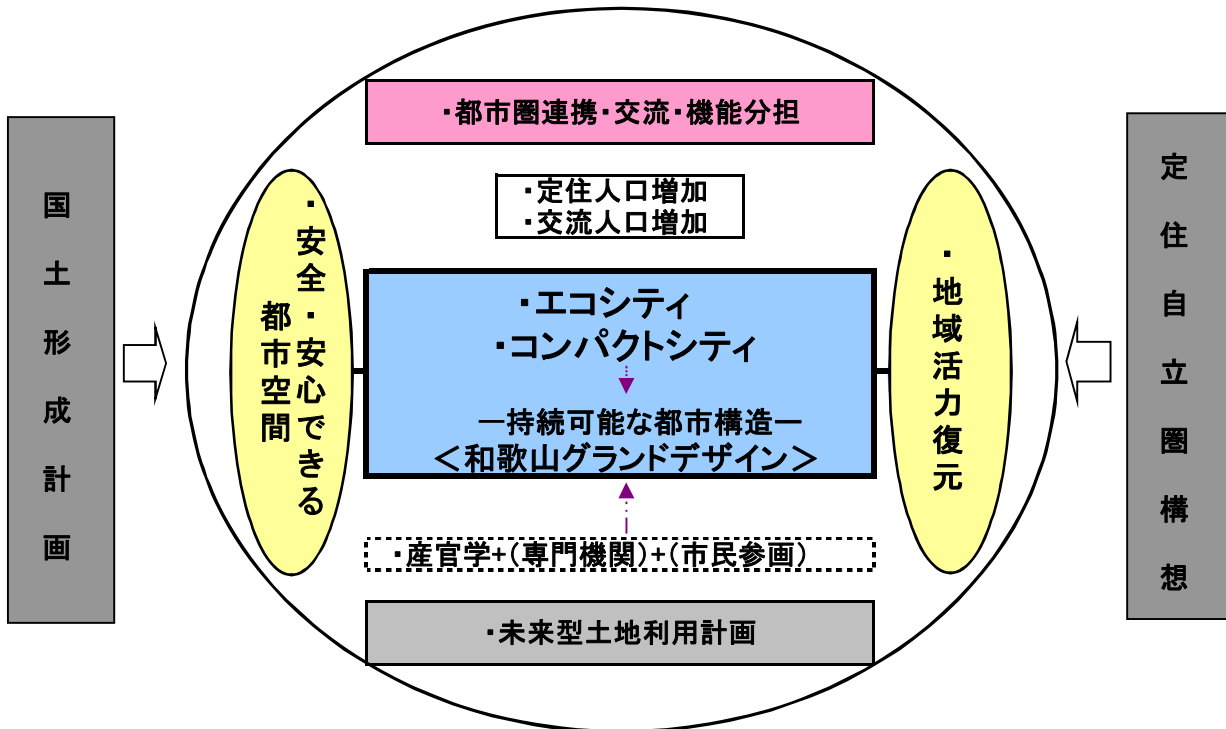
■目的

- ・和歌山市を中心とする周辺圏域における将来的な都市圏構想を構築する～和歌山グランドデザイン～  
＝地方中核市を中心とした持続可能な「定住自立圏構想」につながるビジョンづくり
- ・近年の社会経済情勢を明確に厳しく認識し次世代につなげていける“真”のまちづくり  
＝少子高齢化の進展や社会的活動の変革要請のもとでの社会基盤・地域特性の再構築

- <ビジョン>
- ・定住・交流人口増加
  - ・地域活力復元(産業・コミュニティ・雇用・文化・歴史)
  - ・安全・安心できる都市空間(防災・減災・医療・福祉・教育・景観)
  - ・エコシティ(環境保護・リサイクル・交通体系)
  - ・コンパクトシティ(都市機能効率化・拡散防止・公共交通活用)
  - ・未来型土地利用計画(ゾーニングor複合)

<イメージ>

<和歌山市まちづくり戦略研究会>



■内容

<参加者> メンバー(下記)+オブザーバー(各分野随時)

[研究会メンバー]

@(財)和歌山社会経済研究所

- 木下雅夫 常務理事・事務局長
- 大門忠志 研究部長
- 高田朋男 研究部長
- 中平匡俊 主任研究員
- 高木啓江 主任研究員

@和歌山大学

- 大泉英次 経済学部教授
- 足立基浩 経済学部教授
- 鈴木裕範 経済学部教授
- 中島正博 経済学部准教授
- 大井達雄 観光学部准教授

@和歌山商工会議所(WCCI)

- 中浴正隆 街づくり支援室主任

@事務局

- 上野美咲 経済学部特任助教
- (山本敦子) 経済学部助教(～24/6)

[オブザーバー](随時)

自治体(和歌山県・和歌山市)/議員/報道/まちづくりNPO等団体/一般市民/等

<研究会開催>

- #1 H24.5.10 「H24活動計画/A:ビジョン構築～基本コンセプト/B:スキーム構築」
- #2 H24.6.14 「和歌山市マスタープラン」
- #3 H24.7.26 「どんな和歌山市にしたいか～マスタープランを下敷きに～ビジョン・コンセプト」
- #4 H24.9.26 「ビジョン・コンセプト・ゾーニング」「先進地視察先決定～松本市・宇都宮市/メンバー・日程等」
- #5 H24.10.18 「先進地視察内容確認」
- #6 H24.11.19～20 「松本市」訪問
- H24.11.26～27 「宇都宮市」訪問
- #7 H25.1.21 「視察報告」
- #8 H25.2.19 「目指す中核ビジョンの確認」「基本コンセプトの確認/ゾーニングプランの確認」「次年度活動内容」

< 研究内容 > 《過去類似研究及び施策のポイント・課題をベースに》

A ビジョン構築

「目指すべきビジョン」とは ⇒ 《住みたい、訪ねたい、触れたい、働きたい、繋ぎたい、そんなまち》  
～キーワード～

- ・人口減少/少子高齢化/社会経済システム変動/共生/交流/協働/生活者優先/環境/安全・安心/防・減災/持続可能性/縮退都市/地域間連携/等

～前提条件及び背景～

- ・人口推移/産業構造/事業所経営状況/雇用・所得等推移/交通基盤/文化・歴史認識/地域特性/等

～先進地調査～

- ・松本市/宇都宮市/岐阜市/富山市

○中核ビジョン

- ・すべての分野で「LOHAS(Lifestyles of Health and Sustainability)的社会活動」が可能なまち
- ・「スマート・シュリンク(賢く縮退する)都市」構想 ⇒ 《パラダイムシフト・あらたな価値基準》

B 「基本コンセプト」づくり ⇒ 《持続可能な都市構造》

～キーワード～

[ハード要素]

- ・社会・生活インフラ再投資/産業構造/交通体系/環境保全/景観重視/生活者重視/防・減災/地域間施設連携/都市非拡散・低密度化/縮退計画/等

[ソフト要素]

- ・人口減少/少子高齢化/生活・価値観多様化/文化・歴史的要素/就業機会/地域特性/時間軸/財政緊縮/行政サービス維持・劣化/官民協働/地域コミュニティ再生/地域間機能連携/等

○中核コンセプト

- ・「コンパクトシティ」 ⇒ 《地域間及び中心域と連携したコンパクトシティ》

C 「ゾーニング・プラン」づくり ⇒ 《コンパクトシティ構想と周辺地域生活圏のバランス》

～チェックポイント～

- ・「都市計画マスタープラン」との整合性  
必要可否/8地区/リンク性/地元理解・整備意識/推進主体・財源
- ・和歌山市全域か地域特定か
- ・維持市街地と縮退地域の選別
- ・地域(個別)移転前提の可否
- ・既存権益との調整(事業所・住民)
- ・上位計画との整合性  
市長期総合計画/定住自立圏構想/国土形成計画/他

○キーポイント

- ・交通結節点(公共交通)を基準としたゾーニング ⇒ 《鉄道駅(3社8路線)を地域核として中心核との連携》

■ H25年度研究内容(計画)

研究成果(報告書)とりまとめ

- ・A～Cの提言内容を各位で執筆
- ・下記D研究内容を含む(範囲・水準の検討要)

D 「スキーム構築」

○推進計画策定

- ・現在計画調査/類似計画履歴調査
- ・計画区域明示/地区計画・街区計画/
- ・事業手法(区画整理・再開発・等価交換・権利変換・賃貸借・定期借地・農振法/優良宅地/その他)
- ・事業主体/参画事業体
- ・ファイナンス(PPP・PFI・BID・TIF・P/F・その他)
- ・エリアマネジメント概念(国土交通省)

○組織・体制づくり

- ・ステークホルダーの確定(住民・企業・行政・団体/来客)
- ・リーダーシップ/コンサルタント・アドバイザー・コーディネーター
- ・事業主体/参画事業体

○ロードマップづくり

- ・計画立案～推進～実施～定着

以上